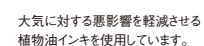
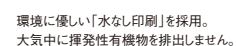
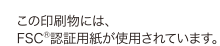
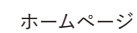


会 社 名：角文株式会社
本社所在地：愛知県刈谷市泉田町古和井1番地
代 表 番 号：(0566)22-1811
代 表 者：代表取締役社長 鈴木文三郎
創 業：文政6年(1823年)
創 立：昭和35年8月10日(1960年)
資 本 金：8,000万円
従 業 員 数：136名(2025年7月現在)



～ 持続可能な未来のために、わたしたちができること～



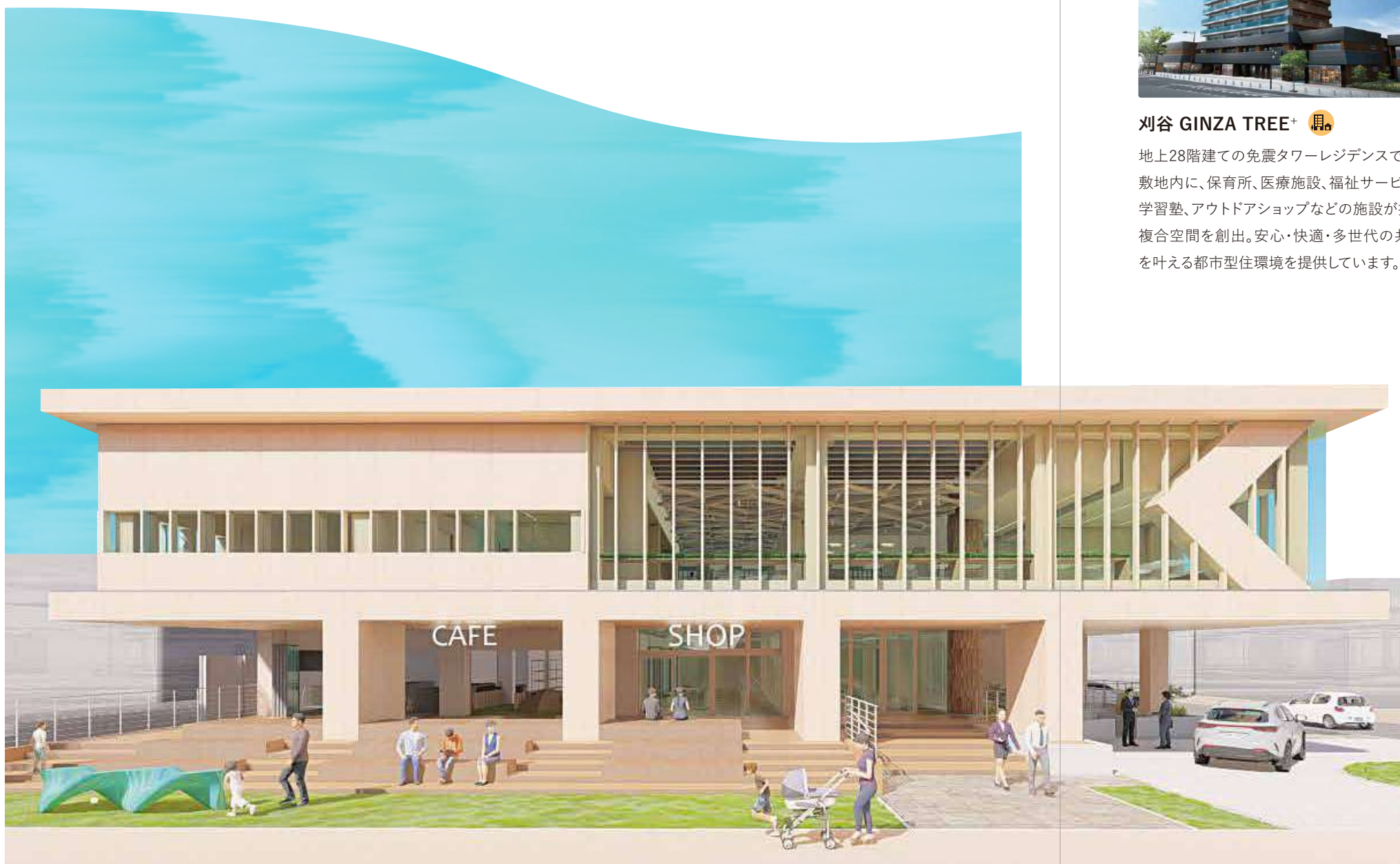
Together for the Future



For the community,
as a part of the community.

築いているのは、 未来です。

わたしたち角文が手がけているのは、
住まいづくりやまちづくりではありません。
人々が安心して暮らせる環境づくりにも力を注ぎ、
水や森を守り、自然と共生する未来を見つめてきました。
それは「持続可能なまちづくり」という言葉が一般的になるよりも、
ずっと前から。
人に、まちに、自然にやさしく。
小さな積み重ねを大切に。
これからも、希望にみちた未来を築いていきます。



第二社屋の完成イメージ。木造と鉄骨のハイブリッド構造を採用。
1階には気軽に立ち寄れるカフェやショップなどを予定し、地域の交流の場となる空間をめざします。

まちづくり



もっと、ずっと、住みたくなるまちへ。

環境への配慮と地域への思いやりを大切にしながら、
誰もが安心して住み続けられる、人と環境にやさしいまちづくりを進めています。



2028年の
A地区完成をめざし
工事が進行中。

◆ コンパクトシティ



刈谷 GINZA TREE+ 開

地上28階建ての免震タワーレジデンスです。
敷地内に、保育所、医療施設、福祉サービス、
学習塾、アウトドアショップなどの施設が揃う
複合空間を創出。安心・快適・多世代の共生
を叶える都市型住環境を提供しています。



DENCITY 開

JR安城駅南エリアに誕生した、「住宅」「商業
施設」「オフィス」「ホテル」一体型の複合施設
です。さらに徒歩圏内には、スーパーや公園、
市役所、病院など暮らしに必要な施設が揃って
おり、利便性の高い「コンパクトシティ」を実現。



刈谷市駅前再開発事業 開

刈谷市駅の西側エリアでは、人が行き交い、
新たなにぎわいを創出するまちづくりが始まっ
ています。角文は2021年から事業に参加し、
マンションや店舗を備えた複合施設の建設
に取り組んでいます。

◆ 住まいと暮らしの創造



一般定期借地権付分譲住宅の販売 開

1993年、日本で初めて「定期借地権付分譲
マンション」を販売。新しい土地の有効活用
と住まいの選択肢の多様化を実現しています。



リノベーション物件の再販売 開

環境に配慮した設備・仕様を導入したリノーベ
ーションを推進。住まいの価値を向上させ、快適
でサステナブルな暮らしを提案しています。

自然から学ぶ、未来のこと。

美しい川を守りながら、自然と人とのつながりを体感し、子どもたちと学び合う。
自然と共に生きる未来を、地域とともに育んでいます。



◆ 生態系の保護と再生

角文の
サステナビリティ
活動の原点



ビオトープ「逢妻の郷」

2003年、創業180周年記念事業として本社前に造成。池には絶滅危惧種の生物が生息し、夜にはホタルが舞う幻想的な光景が広がっていました。子どもたちの環境学習の場としても活用され、地域に親しまれてきた存在です。2021年に役目を終えましたが、角文の環境活動の原点として、その想いは受け継がれています。



美しい自然を守る！



こどもホタルレンジャー

環境省が主催する「こどもホタルレンジャー」は、汚れた水をきれいにしたり、ホタルがすむ川や湖を守る子どもたちの活動を応援する取り組みです。2017年には、当社のビオトープ「逢妻の郷」での活動が高く評価され、全国で初めて企業として奨励賞を受賞しました。



◆ 体験型環境教育



川の環境学習(刈谷市内の小学校)

本社前に流れる逢妻川を舞台に、地元の小学生が1年を通して環境学習に取り組んでいます。4月に「総合学習」の授業で事前学習、6月には川に入り生物や水質を調査。角文の社員と愛知教育大学の学生もスタッフとして参加し、活動を支援しています。年度末には、子どもたち自らの学びの成果を発表する看板や新聞を作成。身近な自然から未来を考えるきっかけを育んでいます。

地域の
未来づくりに
貢献！

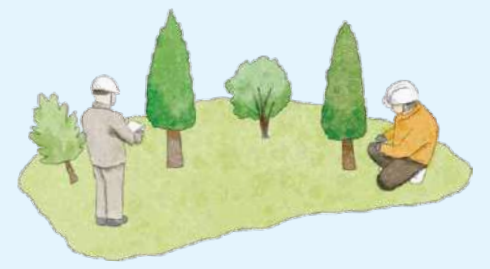


中部未来創造大賞

「川の環境学習」の実績が認められ、地域資源を活かした教育モデルとして「第21回中部未来創造大賞」優秀賞を受賞。未来を創る持続可能な取り組みとして高い評価を得ました。

森をまもる、水をつなぐ。

森と水に感謝し、その恵みを未来へ。
地域とともに森林を守り育てる環境保全の輪が、持続可能な未来を支えています。



◆ 水資源と森林の保全



水源の森づくり活動

「300年の森づくり活動」をテーマに、豊田市足助町にある約110haの自社所有の森林で、毎年春と秋の2回、間伐や植林、生態系の保護・観察などに取り組んでいます。



公益財団法人角文鈴木環境財団

森林の保全・活用・循環に関わる諸問題の解決をめざすための研究や教育を支援するため、2021年に設立。愛知県内の学生や研究者に向けた助成事業を行っています。



応接室リニューアル

家具には「水源の森づくり活動」で間伐したヒノキ材を使用し、壁には消臭・調湿効果のある建材を採用。自然素材の力を活かしたサステナブルな空間です。



間伐材から消臭木を作成

水源の森の間伐材を蒸して作られた消臭木。地域企業と連携し、間伐材を破棄することなく、ノベルティとして有効活用しています。



間伐材からアロマスプレーを作成

水源の森の間伐材の葉を蒸留し、アロマスプレーを作成。森林資源を暮らしの癒やし製品へと生まれ変わらせる循環型の取り組みです。



あいち生物多様性優良認証企業

希少種の保護や環境学習など、長年の生物多様性保全活動が評価され、2022年度に「あいち生物多様性企業認証制度」で優良認証を取得。



愛知環境賞

環境技術や知識を事業へと還元する取り組みが「持続可能な環境経営モデル」として高く評価され、2015年に愛知環境賞・優秀賞を受賞しました。

手を取りあって、共に先へ。

すべての人が支え合い、笑顔でいられる社会をめざして。
アート活動の支援やリサイクル活動、地域との交流を大切にしています。



◆ 文化・福祉支援と地域交流



アティックアート美術展

創業200周年記念事業の一環として、障がいがありながらも才能に恵まれたアーティストたちの作品を紹介する「アティックアート美術展 〜溢れる才能 煌めく感性〜」を開催。刈谷市美術館を会場に、これまでに収集してきた原画約200点を展示しました。



◆ 資源循環とSDGs推進



角文ぬくもり広場(本社1階ロビー)

アティックアートの作品やノベルティグッズなどが展示されているギャラリースペース。リサイクル糸を使用したタイルカーペット、3Dプリンタで製造されたグラスパイラルベンチ、間伐材を加工した壁板材など、再生可能資源の活用や角文のSDGsへの取り組みを見て、触れて、体感できる空間です。

アティックアート活動・グッズ制作

障がいを持つアーティストの自立を応援する「アティックアート活動」に参画。作品をモチーフにしたグッズやラッピングバスなどを制作し、支援の輪を広げています。



エコキャップ運動

ペットボトルのキャップを回収し、CO₂削減やワクチン購入に貢献。これまで約14万個を回収し、167人分のワクチン支援を実現しました。

交通安全啓発活動

毎月ゼロのつく日には、本社前の交差点で社員がのぼりやプラカードを掲げ、地域の皆さまと共に子どもたちの通学の安全を見守り、ドライバーに安全運転を啓発しています。



あいちSDGsパートナーズ

経済・社会・環境の分野における角文のサステナブルな取り組みが評価され、愛知県から「あいちSDGsパートナーズ」に認定されました。



エコカーも
グリーンカーテンも、
未来のために。



かりやeco事業所

太陽光発電やエコカー導入、グリーンカーテンなど、環境に配慮した取り組みを積極的に行っているとして刈谷市から「かりやeco事業所」第一号に認定。

備える力が、守る力に。

地域とつながる防災活動と、災害時も安心できるエネルギーインフラ。
“もしも”に備える取り組みが、日常の安心を支えています。



◆ 地域防災とエネルギーによる安心づくり



車載可能な
防災リュックを
全社員に配布！

「社員の命を守りたい」という社長の思いが詰まっています。



避難訓練・炊き出し訓練

避難訓練や、災害時の食の確保を想定した炊き出し訓練を定期的実施。備蓄品の見直しや防災リュックの配布なども行いました。



災害対応機器の導入

災害時も本社屋へ電気を供給する「ガスバルク」、災害時に商品を提供する「災害対応自動販売機」を設置。地域の「安心拠点」をめざします。

◆ 再生可能エネルギーと災害対策



太陽光発電

本社に近い刈谷市立富士松南小学校の屋上に、太陽光発電設備を設置。日常の節電はもちろん、災害時には電力の供給を可能にします。



断水時に役立つ
簡易トイレも確保。
衛生面も安心！



安全な道づくりや
凍結防止剤の散布も、
私たちの大切な
仕事です！

災害に強いまちづくり

災害時に役立つアウトドア用品の活用推進、地域の防災活動への参加、防災缶や備蓄倉庫の設置など、防災力向上に取り組んでいます。

クリーンエネルギーで、地球にやさしく。

地球の未来のために、今できることを一つずつ。
再生可能エネルギーの活用や環境保全、資源の有効活用を推進しています。



◆ 省エネルギーへの取り組み



グリーンカーテンコンテスト

夏の暑さを和らげ、省エネにもつながる「グリーンカーテン」。社員の手で育てた蔓性植物のゴーヤが本社ビルに生い茂っています。室内温度の上昇が抑えられ、エアコンの使用量が減少したため電気代の削減につながりました。刈谷市のコンテストでは事業部門・最優秀賞を連続受賞しています。

◆ 再生可能エネルギーと循環型社会への貢献



愛知県産木材の使用(戸建住宅)

戸建住宅の建築には、愛知県で育ったヒノキやスギの使用を推進。自然を暮らしに取り入れ、森林資源の循環活用に貢献しています。



リサイクル材の利用

愛知県が認定したリサイクル資材「あいくる材」(アスファルト合材、砕石、工事看板、コンクリート二次製品、塩ビ管など)の使用を推進。



第二社屋

木造と鉄骨のハイブリット構造を採用し、太陽光パネルも設置。木材を多用することで脱炭素社会に貢献する環境配慮型の社屋です。

学びが明るい未来をつくる。

若い世代が、自分の可能性に気づき、未来を描けるように。
地域と手を取り合い、人を育てる環境づくりに取り組んでいます。



◆ 若手育成と次世代人材の育成支援



内定者研修

「内定者交流会」は、参加しやすいWEB形式で実施。先輩社員との座談会を通して社内の雰囲気を知り、入社後の安心感につなげていきます。さらに「水源の森づくり活動」にも参加し、チームワークと自然の大切さを学びます。



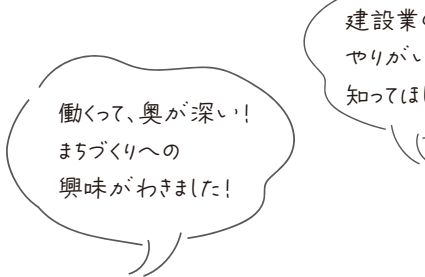
新入社員研修

入社後の約2ヶ月間は各事業部の研修を順番に経験し、6月は仮配属先で実務的な研修を実施。自身の個性や得意分野を把握していきます。また、刈谷市についても学び、働くまちの魅力を発見する時間も大切にしています。



勉強会／資格取得支援

資格取得に向けて模擬試験や講習会を実施。勉強会では、経験豊富な先輩社員が現場でわかりやすく説明し、取得を後押ししています。社員の専門知識や技術が向上し、より高品質なサービスの提供につながっています。



職場体験

地元の中学生を対象に、職場体験の受け入れを実施。普段は見られない仕事の現場にふれる貴重な学びの時間を提供しています。



インターンシップ開催

建設業の仕事を身近に感じるWEBセミナーや1day仕事体験を開催。学生たちは、現場見学や社員との交流を通じて業務を体感します。



Out of KidZania in かりや

小学生が実社会の仕事を体験する刈谷市のイベント。2024年は、施工管理技士の仕事(測量とブロック積み)を体験するブースを出展しました。

誰もがやりがいをもって活躍できるために。

性別や年齢、ライフステージに関係なく、自分らしく働くために。

多様な働き方や健康への取り組みを通して、いきいきと活躍できる職場づくりを進めています。



◆ 社員の健康と働きやすい職場環境づくり



愛知県ファミリーフレンドリー企業

社員が仕事と生活の調和を図り、充実した人生を送れるよう積極的に取り組んでいる企業として、愛知県に登録しています。



刈谷市ハーモニーカンパニー

女性が自分らしく活躍できる職場づくりを進めている企業として、刈谷市から「ハーモニーカンパニー」に認定されました。



健康経営優良法人

経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度において、従業員の健康管理を実践する優良企業と認定されました。



健康セミナーの実施

「肩こり・腰痛の解消」や「睡眠」など、身近なテーマでの健康セミナーを開催。現場スタッフも参加しやすいようリモートも活用。



かりや健康づくり

チャレンジ宣言事業所

心も体も元気に働けるよう、社員の健康づくりをサポート。行政や健康保険組合と連携し、「健康経営」に取り組んでいます。

愛知県休み方改革マイスター企業

有給休暇の取得促進や、特別休暇制度の導入など、休みやすい・働きやすい柔軟な職場づくりを積極的に推進しています。

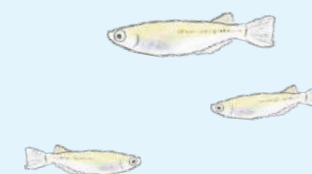
あいち女性輝きカンパニー

女性の職域拡大、管理職への登用などを通じて、女性の活躍を後押しする「あいち女性輝きカンパニー」に認定されています。

「環境のために」を当たり前。

環境への配慮は特別なことではなく、日々の選択の積み重ね。

企業としての姿勢と行動で、サステナブルな社会の実現に貢献しています。



◆ 企業の取り組み



シンボルマークカラー変更

創業200周年を機に、ブルー一色だったカラーを、ブルーからグリーンへのグラデーションカラーへ変更。山と海のつながりを表すと共に、カーボンニュートラルの実現をめざす企業姿勢を表現しています。



オオキンケイギク駆除活動

春には、環境保全活動の一環として、特定外来生物「オオキンケイギク」の駆除を実施。地域の方々と協力し、種や根を残さぬよう丁寧に作業しました。これからは在来種を守る活動に取り組んでいきます。



一人一花 in 能登半島

能登半島地震の影響で増えた空き地に花を植えることにより、まちに活気と希望を生み出すプロジェクト。地域住民のつながりを深める憩いの場ともなっています。角文は実行委員会と連携しながら支援を続けています。



燃料電池車「MIRAI」導入

走行中にCO₂を排出しないトヨタ自動車の燃料電池車「MIRAI」を社用車として導入。次世代エネルギーの可能性を信じ、地球にやさしい移動を実践しています。

流れる水の音、森を渡る風、子どもたちの笑い声。
そんな当たり前の日常を、これからも守っていきたい。

理想の未来へ、 歩み続ける。

環境を想う気持ちは、特別なことじゃない。
小さな一歩の積み重ねが、
やがて大きな変化につながっていくと、わたしたちは信じています。

「サステナブル」は、きっと未来へのやさしさ。
このまちの、そしてこの地球の明日を想いながら —
わたしたちは今日も、できることから歩みを止めずに進んでいきます。

To the Future.

